

■15 保健管理等に関する事項

学生生活を総合的に支援することを目的として発足した保健管理センターは、心身の健康の保持・増進を図る体制を構築し、深草学舎、瀬田学舎、大宮学舎において保健管理業務をおこなっている。また、こころの相談室と診療所を開設し、連携して学生支援をおこなっている。

2009年4月からは大学敷地内全面禁煙化を受け「受動喫煙の防止」、「すべての関係者の健康保持・増進」を目的として禁煙教育や卒煙支援に取り組んでいる。2011年度からは、新たに学生健康意識向上をめざす取り組みとして学生健康支援プログラムを実施した。具体的には、麻しん（はしか）などの感染症対策、生活リズム、応急処置、薬物対策、禁煙イベント、アルコール事故防止、熱中症対策、救命等に関する講習会等を実施した。また、健康診断、診療ならびに健康相談と幅広く健康管理に取り組んでいる。

学予定者を対象に予防接種の勧奨及び入学生に接種状況の調査を実施するとともに、学生へ注意喚起を積極的におこなった。また、2011年度より、学内でインフルエンザ予防接種が受けられるように医療機関に業務委託して実施した。

●学生健康支援プログラムの実施

学生の学生健康意識向上を目指し、生活リズムの改善、応急処置の方法、薬物対策、禁煙イベント等、京都府と企業、NPO法人などと協働して、学生が集まりやすい昼休みを中心にイベントを実施した。また、サークル代表者やマネージャーを対象とした熱中症対策の講演会を開催した。

●応急手当普及員の養成

学生主催行事を開催するにあたり、緊急時の応急手当等の対応ができるよう学生実行委員を対象とした講習会を開催した。また、キャンパス内のどこの地点からも3分以内にAEDが使用できるようにすべての建物に設置した。その設置台数は63台となり、全国でもトップクラスの台数となった。

また、2011年度より学生応急手当普及員を25名養成し、消防士の協力を得て、普通救命講習会を開催した。

●ケースカンファレンスの実施

カウンセラー、医師、保健師、看護師が課題を共有し相互に連携を図るために月1回のケースカンファレンスを実

1 保健管理について

●こころの相談室の環境の整備

こころに悩みを抱える学生がより気軽に相談できることを目的として、Webによる相談予約をはじめ、カウンセラーの紹介や相談室写真を掲載するなどホームページの改善に努め、学生が相談室を訪れやすくなるように工夫した。

●学内全面禁煙の活動推進

大学敷地内全面禁煙の取り組みを受けて、受動喫煙防止、すべての関係者の健康保持・増進を目的として、敷地内全面禁煙の取り組みを推進した。学友会組織と協力し、禁煙キャンペーンを積極的に行い、相談によるニコレットパッチの配付などを行うとともに、入学時に新入生全員に対して喫煙が体に与える悪影響についての講演会を実施した。

●感染症への対応

2008年度に文部科学省から各大学へ麻しん等予防接種状況の把握に関する通達を受けた。これに基づき2011年度入

II 事業実績の概要

施した。また、学生が円滑な学生生活が送れるように必要に応じて学生部、教務課等と協力して支援した。

2 診療について

●こころの病の早期発見、早期治療によるメンタルヘルスケアの充実

精神科医師による精神科相談・診療に加えて、学生定期健康診断の際に、問診による心の健康関連項目（既往歴）を実施し、学生支援に結びつける仕組みを導入した。

また、相談を希望する学生には、保健管理センターから電話をかけるなどして学生生活のつまずきの解消に努めた。

●副センター長の任用

2010年4月より、副センター長（内科医）を任用し、学生、教職員の健康管理体制を充実させた。具体的には、診療をはじめ、健康診断呼び出し基準、治療薬の検討を行うとともに、健康談話会などの講演会を開催し、健康意識の向上をはかった。

●診療体制の充実

学生、教職員の健康の維持増進のために学医を任用し診療体制を構築した。また、学医の任用については、大学病院及び近隣医療機関に依頼し受診しやすい環境を整備した。